

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 くらしの植物苑東屋 13:30 から
第108回 3月22日(土)『古代のウメとサクラ』

仁藤敦史(本館研究部)

第109回 4月29日(火) 歴博みどりの日 入苑無料
『新緑の城址公園を歩く』 中川重年

くらしの植物苑今週のみどころ <http://rekihaku.ac.jp>



今見られる花: ウメ(白・桃・八重)、ナバナ、アカバナマンサク、シナマンサク、
サンシュユ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ナズナ、ヒメオドリコソウ、
ハルサザンカ群、ヒメサザンカの品種、ヤブツバキ、ツバキ品種、

本館第3展示室 3月18日(火)

リニューアルオープン

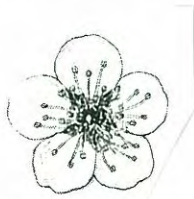
江戸時代の人びとの生活や文化を展示しています。「国際社会のなかの近世日本」
「都市の生活」「ひととものながれ」「村からみえる『近世』」の4テーマが紹介
されています。

お知らせ 3月18日(火)から、本館・くらしの植物苑の入館・入苑料が小・中
学生は無料となります。毎土曜日は高校生も無料になります。

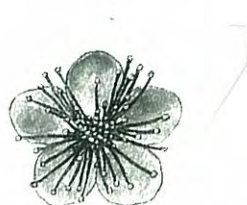
ウメの品種群の違い

(世界有用植物事典より引用)

- ①野梅系 小枝が多く、一部は棘状の枝もみられ、葉も小さい。花色も多くは白で
紅色でもやや淡いものが多い。
- ②緋梅系 木質部が赤い、多くは花色が紅である。
- ③豊後系 枝が太くのび、葉が大きく表面に毛がある。果実が大きく、梅干や煮梅
に多用される。
- ④アンズ系 ウメよりアンズに近縁な品種、枝は少し細くなり、葉もやや小さく表
面に毛がない。



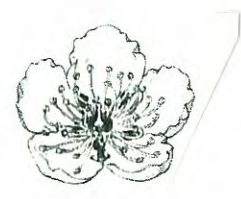
①野梅系(難波梅)



②緋梅系(緋梅)



③豊後系(武蔵野)



④アンズ系(八朔)

ハルサザンカ群 “古金欄”

古金欄は淡桃地に紅の縦縞りや吹っかけがはいります。一重で盃状に開きます。1789年の『諸国花形帳』に記載されています。



ウメ (バラ科サクラ属)

ウメは落葉の小高木で、花色は白か淡紅色で香りがあります。基本種は花弁が5枚で平開し、雄しべは多く花弁より短い特徴があります。ウメは野梅系、緋梅系、豊後系、アンズ系に分けられ、豊後系の果実が大きく食用に利用されます。

英：Japanese Apricot、中：梅といいます。



ウメ “唐梅” (バラ科サクラ属)

緋梅系は木質部が赤いので区別しやすい。写真は唐梅で、紅色の八重咲中輪で、開花後に淡紅色になる。盆栽や植木に適していて古くからの品種です。



ダンコウバイ (クスノキ科クロモジ属)

雌雄異株の落葉低木で、苑内のものは雌株で、小さい花ですが、花弁が6枚、退化おしべが9本、雌しべが1本見えます。

英：Japanese Spice Bush、中：三桎烏薬といえます。

